

ザリガニ料理、中国で爆発的ブーム！

「マクドナルドを超えた!？」

JSC 貿易部の中国通信

いつもお世話になります。

怪しげなタイトルでスタートした中国通信6月号。今回は、わたくし「今井」がお届けします。



中国では、2015年からザリガニ料理専門の料理店が爆発的に増え始め、現在1万7000店超まで増えてきているそうです。確かに人通りの多いところなんかだと、ザリガニ料理専門店が5~6店舗並んで営業しているところもある

ほど中国ではポピュラーな料理になってきています。スパイスをふんだんに使いピリ辛に仕上げている料理が多く、人々が手で皮を剥いて大量の殻を積み上げて食べている光景をよく目にします。



個人的には幼い頃、汚い川や池でザリガニを捕っていた記憶があり、いまだにチャレンジできていませんが、色々調べてみると日本にもザリガニの影が忍び寄っている様です……。少し前にも日本のテレビで紹介されていましたが、スウェーデンでは“ザリガニグッズ”を着けてパーティーをするそうです。その“ザリガニグッズ”、**な、なんと日本の「IKEA」（イケア）でも売られているそうです。**「IKEA」（イケア）といえばスウェーデンに本部を置く、欧州家具と雑貨の大型販売店舗ですが、その中にフードコートがあり、8月から9月上旬にかけて『ザリガニ・パーティー』なる祭りも開催しているようです。↑



更に料理紹介サイト『クックパット』には、ザリガニの炊き込みご飯、ザリガニの味噌汁が紹介されていました。次回、チャンスがあれば、チャレンジしてみます、**食べず嫌い**は**駄目**ですから…。

石材工場の環境設備投資本格化！

中国の墓石工場はどうなっていく？

さて、本業の話ですが、各工場では6月の環境検査開始が本格化する前に、急ぎ検査基準クリアの為、排水・騒音・粉塵対策を開始しています。排水に関しては、日本向けのある程度の大きな工場などは元々設備がありました。更に浄化能力を上げています。また、石粉を保管する場所には屋根を付け、雨・風で流れない様に保管場所を新設。騒音は、大口径や中口径の有る建物を締め切って音を出さない様に扉や壁を付ける。ブレードも消音の物に交換し、窓も密封性の高い物にして、音と粉塵を外に出さない様にしています。工場内の粉塵は、特大換気扇などを設置して裏側で石粉が飛ばない様に霧で水に流す仕組みです。基準がイマイチ明確ではない様で、実際何処までやれば検査を

通過するのかわからないところもあるみたいですが、万が一、検査を通過できない工場が多く出て来た場合は、日本向けの墓石の生産にも大きな影響が出てきそうです。



吸引口（工場内側）



排気（霧状の水が撒かれている！）

一部の“基準に対応できない家内工業的な工場”などは、電気が使えない様に配電ごと取り外されているところまで出て来ていますので、この流れでいくと、小さな彫刻工場や下請け工場は無くなっていくかもしれません。手加工品を生産していた工場などは、いち早く壊され操業不能にされている様です。間知石・手加工ノミ切板・彫刻物など、これまで職人さんの腕さえ有ればできたような小さな工場はどんどん減っていきそうです。

この先は？ というと、考えられるのは、今後投資をして許可申請が通った工場は、値上げの方向に動くのではないのでしょうか？ ダメなら、日本の墓石



市場の景気から判断して、中国国内向けの石材工場に転換するところも一段と増えてくるのかな?と思います。

また、工場の問題も大きいですが、閉鎖される丁場が増えてきたことにより、色々な原石の単価が値上げされてきている事も気になります。

いずれにせよ、中国の石材業界だけでなく、協同の道を歩む日本の墓石業界にとっても難しい局面に入っ

来ている様に思います。

そんな中、日本のお客様と中国の工場の橋渡し役である私の役割も一層重要になってくるという自覚を持って頑張りますので、今後ともよろしくお願いします。

最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。では、また来月!

2018/06/01 今井